独立行政法人 国際協力機構

環境教育の JICA 海外協力隊について

～ 環境への関心を高めるために ～

環境教育とは

「環境教育」とは、人々が自然と調和した健康な生活を送るために行う、私たちの身の回りや地球全体の環境に関する教育や取り組みのことです。

日本では、公害による環境問題が深刻化した背景から、自治体、学校や地域、また大人だけでなく次世代を担う子供たちも対象にした多くの取り組みが行われてきました。

持続可能な社会のあり方を考える上で、環境教育は、いつでも、どこでも、誰もが取り組まなければならない教育課題となっています。

環境教育隊員とは

日本では、市民レベルでも環境に配慮したさまざまな取り組みが行われています。こうした日本の知識や経験を各国の環境問題の解決に活用すべく、JICA は環境教育の隊員を派遣しています。

環境教育隊員は、必ずしも環境に関する高度な知識があるとは限りませんが、自身の得意なスキルや経験を活かし、任地での課題を明らかにして、わかりやすく魅力的な活動につなげています。

また、環境教育隊員は、こうした能力をさらに強化するための研修を派遣前に受講し、環境教育を行う上で必要とされる専門性を身につけて派遣されます。

環境教育活動に求められる力・経験

環境教育の活動は多岐にわたるため、環境教育の知識や経験だけでなく、自身の得意なスキルや経験を活かして活動につなげていくことが求められます。

- 教育、環境関連活動
- イベント企画・運営
- 営業、交渉、調整
- 教材、広報ツール制作
- リーダーシップ
- 調査、分析
- 写真、イラスト、音楽ほか各種表現活動　　など

研修について

派遣前には、オンデマンド動画の視聴およびオンラインでの環境教育に関する研修があります。

環境教育分野研修

●オンデマンド動画

ファシリテーションスキル、フォトランテージ、環境教育の手づくり教材、IT を活用した情報発信、外国で活動するということ　など

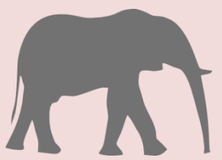
●オンライン研修

コンポスト技術、環境教育プログラムのつくりかた、体験型環境教育、参加型授業、環境教育の手作り教材、地球環境問題とわたしのライフスタイルのつながり、世界のゴミ、調査手法、ニーズ調査のためのワークショップ企画、隊員活動事例　など

環境教育隊員の派遣先

- 環境省や教育省系の地方自治体
- ゴミ問題に取り組む自治体や団体
- 環境教育を実施している自然公園や国立公園などの拠点
- 環境教育を実施している環境センターや団体
- 教育機関や学校と接点をもつ教育委員会や団体　　など

※JICA 技術協力プロジェクトや草の根技術協力などと連携して活動に取り組むこともあります。



環境教育隊員のバックグラウンド

- 学校教諭、塾講師
- 民間企業の営業職、CSR、広報、事務職
- 自然学校、環境 NPO、関連施設スタッフやボランティア
- 自然・環境教育、野外学習の企画・運営・指導
- イベントの企画・運営
- 教材や広報資料制作
- 起業、ライター、Web 制作、団体のリーダー　など

環境教育隊員の活動内容

環境教育の活動には、大きく分けて、ブラウン系とグリーン系の２つのタイプがあり、その両方にまたがる教育を中心とした要請もあります。

イベント企画・運営

配属先スタッフとともに、ゴミ拾いキャンペーン等の環境啓発イベントを企画し、実施・運営を支援します。
学校の生徒や地域住民を対象とした環境や廃棄物関連の各種講習会やワークショップ等を通じて環境啓発活動に取り組みます。

コンポストの普及

ごみの削減、衛生の改善をする上で、生ごみの処理は大きな課題です。隊員は、派遣前に家庭からの生ごみ削減としてコンポスト手法を学び、その指導と普及に取り組みます。

学校巡回・出前授業

学校を巡回して環境教育、地球温暖化、3R、環境汚染など様々なテーマでゲームや双方向のやりとりを取り入れた参加型の授業を行います。
参加型授業は、教員、配属先スタッフとともに行うことによって、継続的な活動として定着することを目指します。

自然ガイド

自然の魅力を紹介する自然ガイドとして、来場者にわかりやすく解説したり、ガイドツールの作成を支援したりします。
そのノウハウを配属先スタッフと共有することで技術の幅を広げます。
日本では、環境保護に関するセミナーや指導者育成の講座が多く、参加型の手法なども多く活用されています。

ブラウン系
廃棄物や衛生に関する活動

教育系
総合的な教育活動

グリーン系
自然保全関連の活動

教材開発 教育展示の改良

環境教育の授業案、環境教育の教材やパンフレットなどの作成に取り組みます。
魅力的な展示法の提案・改善にも取り組み、参加者がより能動的に学べるように工夫します。

調査・改善提案

任地や配属先が抱えている環境汚染や環境問題、廃棄物の状況、回収ルートなどについての調査を行い、改善方法を提案する等、同僚や関係者と一緒に解決に向けた取り組みを行います。

グループ育成 人材育成

環境教育のプログラム開発、コンポスト技術の普及には指導者層へのトレーニングを行い、技術の定着を図ります。
学校では、エコクラブなどの環境グループを立ち上げ、その活動を支援します。環境教育リーダーとなる人材を育成し、環境教育の継続的な活動実施を支援します。

ゴミ分別支援 廃棄物管理

地域住民、学校、企業など多くの対象者に対して、ゴミ減量のためのゴミの分別指導、3R 啓発などを行います。
また、配属先の廃棄物管理政策においても、効率的な回収方法の提案や、継続的な活動支援も行います。